

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービス Conte		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 20日		～ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 20日		～ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	構造化された環境設定と十分なスペースの確保が出来る。	学習室・活動室・製作スペース・クールダウン室・園庭など用途別に部屋を分け、子どもが目的を理解しやすい環境を整備している。日々の会議で環境面の改善点を共有している。	建物の改修や配置の見直しを行い、より分かりやすい表示や動線づくりを進め、バリアフリー化も段階的に検討していく。
2	職員間の情報共有とチーム支援体制がとれている。	毎日の朝礼・会議・振り返りを通して情報共有を徹底し、役割分担を明確にした上で支援を行っている。業務改善係を設け、PDCAを意識した運営を行っている。	デイロボやLINEなど、記録の方法や情報を伝えるツールの活用を進め、情報共有の質とスピードを向上させるとともに、職員の専門性向上に向けた研修参加を継続する。
3	モニタリングやアセスメント、面談を定期的に行い、保護者や学校との情報共有を行う事での専門的な支援と多様な活動展開が出来ている。	定期的なモニタリングとアセスメントを実施し、5領域を踏まえた個別支援計画を作成している。個別活動と集団活動を組み合わせ、畑活動など多様な体験を提供している。	活動内容の効果検証を行いながら、地域資源との連携や体験活動の幅を広げ、より質の高い支援へと発展させていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物の構造上の課題(段差・設備面)がある。	建物が古く、段差やトイレの広さなど、バリアフリー対応が十分でない部分がある。	建て替えや改修を視野に入れた環境整備計画を立て、優先順位をつけて改善を進めていく。
2	地域の方との交流の機会が少ない。	地域の方との交流の機会があまりないため、地域にひらけた活動などを考えていく必要がある。	季節に合わせた活動や畑での活動などを通して、地域の方にもお知らせを流すなど、交流の場を設けていく。
3	活動や環境のさらなる質向上の必要性。	活動の固定化防止は行っているが、地域の環境資源を活かした活動など、より質の高い活動や環境の設定を行っていく必要がある。	外部講師を招いた研修や地域連携を積極的に取り入れ、支援内容の客観的検証や質の向上を図っていく。